

施工説明書

必ずお守りください。

表示について

この施工説明書では、製品を安全に正しく施工し、お客さまや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下の表示を行っています。いずれも使用者の安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告

この表示を実行しないで施工をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。

注意

この表示を実行しないで施工すると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この記号は必ず実行していただきたいことを告げるものです。

同梱部材

この製品には下記部品が入っております。

No	同梱部品名	数量	要図
1	ガラス本体	1	
2	キャップ	2	
3	内枠	2	
4	支柱L/R (ガラスパッキン付)	各1	
5	支柱取付ビス (六角孔付き皿ボルトM5×8)	2	
6	ベース取付ビス (ナベ頭小ねじM6×50)	2	
7	パネ座金	2	
8	ベースL/R	各1	
9	受け枠 (ベース用パッキン付)	2	
10	鬼目ナット (ステンレストップのみに使用。)	2	
11	目隠しシール (ステンレストップのみに使用。)	2	
12	施工説明書 (型紙) ※本紙	1	
13	六角レンチ ※お客様にお渡しください。	1	
14	取扱説明書 ※お客様にお渡しください。	1	

施工前に同梱部品の種類及び数量を確認してください。

ステンレストップへ取付けの場合は専用工具としてステンレス用ドリルφ4.5及びφ9.5六角レンチ(6mm)をご準備ください。

取付け方法は下記の手順でおこなってください。

- 受け枠・ベースの取付け
 - ・人大トップの場合
 - ・ステンレストップの場合 (取付孔の加工が必要です。)
- 支柱の取付け
- キャップの取付け
- ガラス本体の取付け
- 確認

取付け方法

Ⅰ受け枠・ベースの取付け

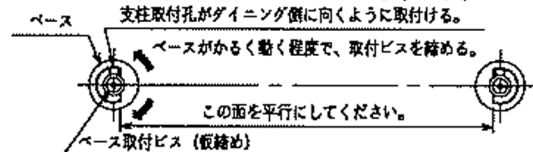
●人大トップの場合

トップに取付孔加工及び鬼目ナットが取付いていることを確認してください。

- 取付孔(加工済み)に受け枠を差し込んでください。
- 受け枠の上にベースを支柱取付孔がダイニング側に向くように確認して乗せてください。同梱のパネ座金、ベース取付ビス(ナベ頭小ねじM6×50)でコの字の溝部が、それぞれ内側に向かい合うように仮締めしてください。ベースには支柱取付孔の位置により勝手が異なりますのでご注意ください。

支柱を取付けた後に、ガラス本体が入るよう溝の位置合わせが必要です。

ベース取付ビスをかたく締めますと、溝の位置合わせができず、ガラス本体が入らないおそれがあります。



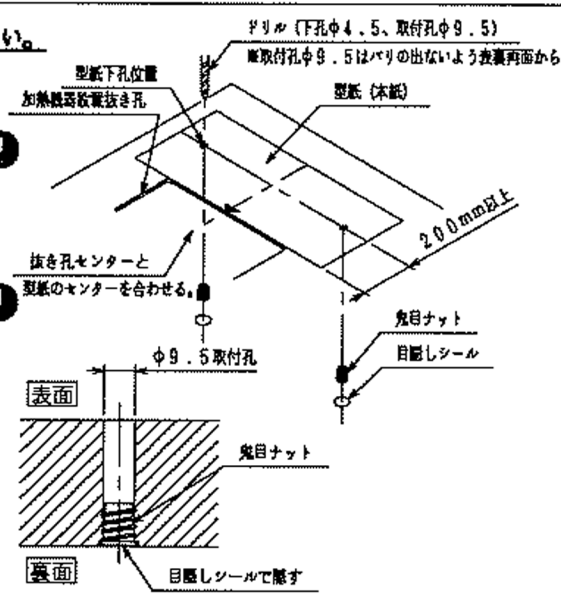
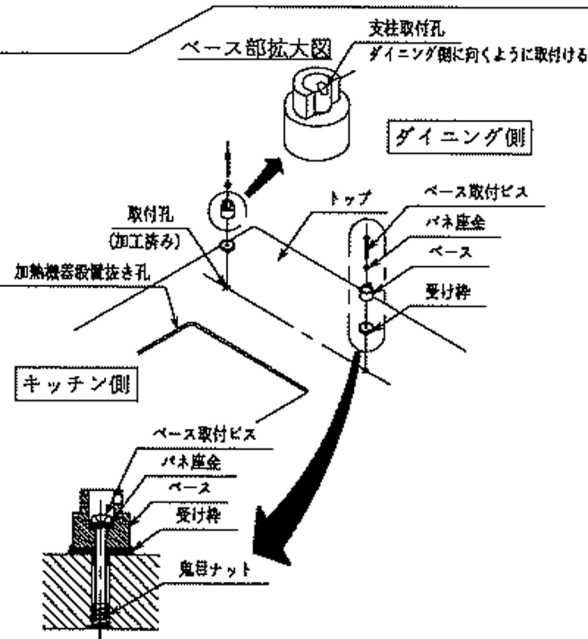
●ステンレストップの場合

※現場にて、トップに取付孔の加工を事前におこなってください。

- 型紙(本紙)を使用してトップに取付孔の加工をおこなってください。必ず加熱機器設置抜き孔より200mm以上離して設置してください。
- 型紙の上面の折り返しの線に沿って折ってください。折った部分を加熱機器設置抜き孔の後ろに合わせ且つ、センター位置を合わせてください。型紙は必ずテープ等でズレないように固定してください。ズレますと取付けられなくなりますのでご注意ください。
- 型紙の指示の位置にてポンチで位置決めをしてください。
- 最初にφ4.5のドリルで下孔をあけて、次にφ9.5のドリルで取付孔をあけてください。

取付孔がズレますと取付けられなくなりますのでご注意ください。

- トップ表面より、取付穴部に同梱の鬼目ナットを裏面より頭が出ないように六角レンチ(6mm)で取付け、目隠しシールにて鬼目ナットを隠してください。
- 受け枠・ベースの取付けは、人大トップの場合の①～②の手順で行ってください。

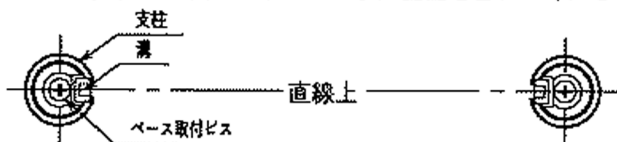


■支柱の取付け

- ① 支柱は、同梱の支柱取付ビス（六角穴付き皿ボルトM5×8）にてベースに差し込み、同梱の六角レンチにて締め付けてください。取付ビスを締めすぎて空回りさせないようにご注意ください。空回りしますと固定が弱くなり外れるおそれがあります。

●支柱の溝の位置合わせ

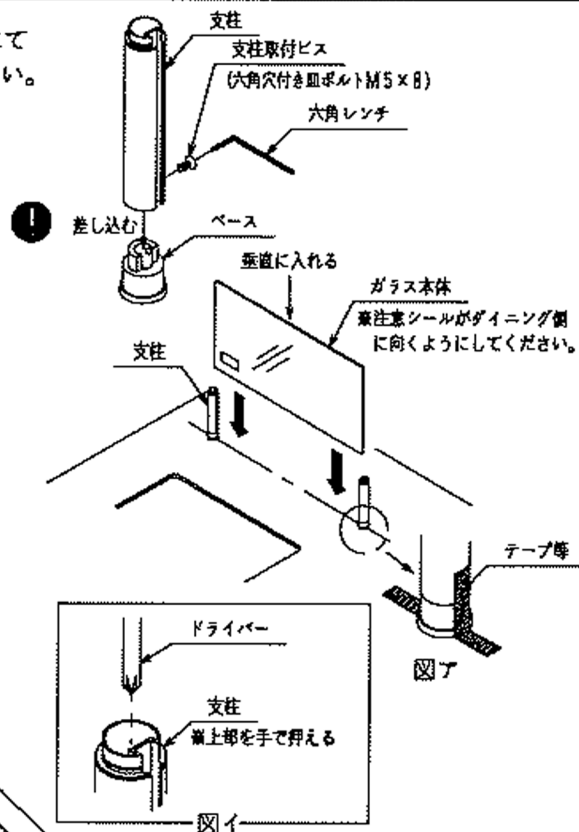
- ② 支柱のコの字溝とコの字溝が、ほぼ内側方向で直線上になるように支柱を回転させ下図のように位置を合わせてください。



- ③ 両方の支柱のコの字溝にあわせて、ガラス本体を上から垂直に差し込みコの字溝の向きを決めてください。この状態で、図アのように支柱の向きがズレないように支柱下部とトップをテープ等で固定してください。

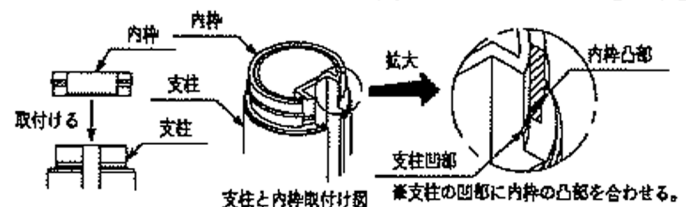
溝の位置がズレていると、ガラス本体が入らないまたは、破損するおそれがあります。

- ④ ガラス本体を支柱のコの字溝から取りはずしてください。
 ⑤ 図イのように支柱の上部からドライバーを差し込み、支柱の上部を手で押えた状態でベース取付ビスをしっかりと締め付けて、ベースが動かないように増締めしてください。
 ⑥ 最後に、支柱の下部とトップに貼付けたテープを必ずはがしてください。

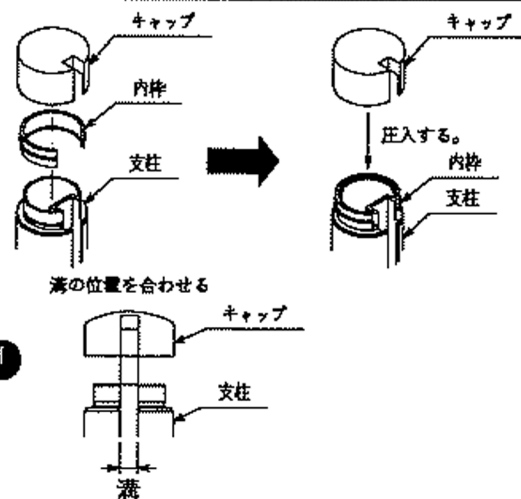


■キャップの取付け

- ① 支柱の上部に、内枠を下図のように取付けてください。内枠を支柱に取付ける際は、取付ける方向にご注意ください。取付け間違えますとキャップが取付かないおそれがあります。



- ② 内枠を取付けた支柱に、キャップを十分に圧入してください。キャップの溝と支柱のコの字溝の位置を合わせてください。溝位置がズレていると、ガラス本体が入らないまたは、破損するおそれがあります。



■ガラス本体の取付け

- ① トップに固定されている支柱の溝にあわせて、ガラス本体を垂直に差し込んでください。
 ※ガラス本体を斜めに傾けたまま差し込むと入りにくく、無理に差し込むと破損するおそれがあります。
 ガラス本体は、注意シールが貼られている面をダイニング側に向けて取付けてください。

■確認

- ① トップに支柱が確実に固定されており、各部に緩み・ガタつきがない事を確認してください。
 ② ガラス本体が支柱に確実に差し込まれており、各部に緩み・大きなガタつきがないことを確認してください。

■施工担当者へのお願い

1. 清掃と養生

- 施工後の製品についたほこり・汚れは、やわらかい布で拭きとってください。家具用ワックスやシンナー、アルコールなどの溶剤または、研磨剤の入った洗剤は使用しないでください。変色したり、光沢をなくしたりして取付金具やガラス本体の表面を傷めます。
- 取付け後、内装工事などの後工事がある場合は梱包材等を使用し傷がついたり、汚れたりしないように養生を行ってください。

2. 施工後のチェック

- 支柱がトップに確実に固定されているか確認してください。
- ガラス本体が支柱に確実に差し込まれているか確認してください。

△ 注意 取付金具の傾き、ガタつき、取付け部にゆるみがないことを確認してください。使用中にガラスが倒れてしてケガをするおそれがあります。

3. 後工事の説明と引継ぎ

- 建築工事側で行っていただく後工事は、必ず建築工事担当者に引き継いでください。
- 取扱説明書及び同梱の六角レンチは確実にお客さまに届くように配慮してください。

4. 廃棄処分について

- 廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。